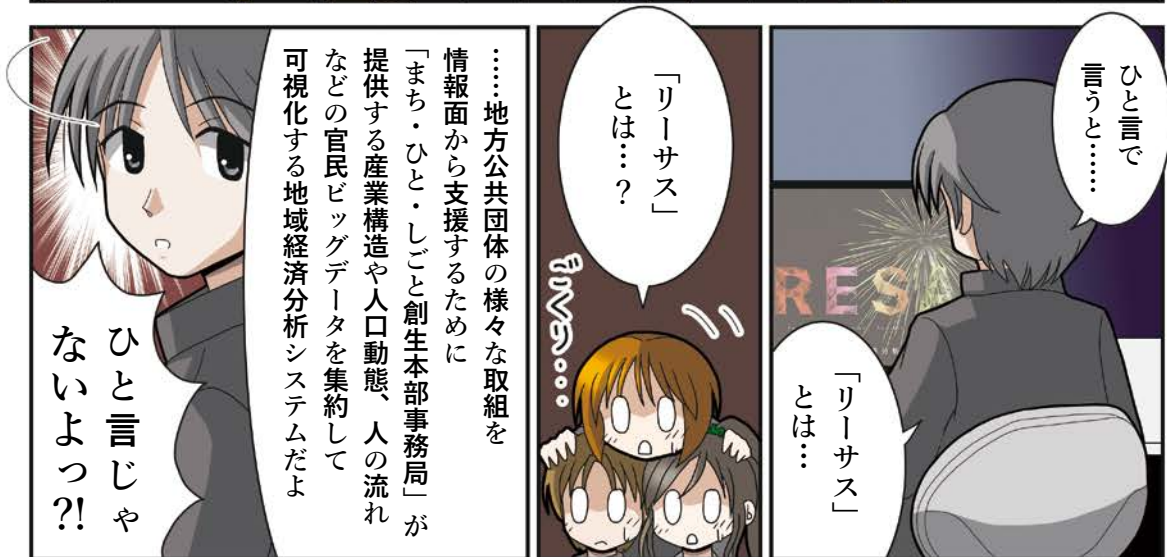
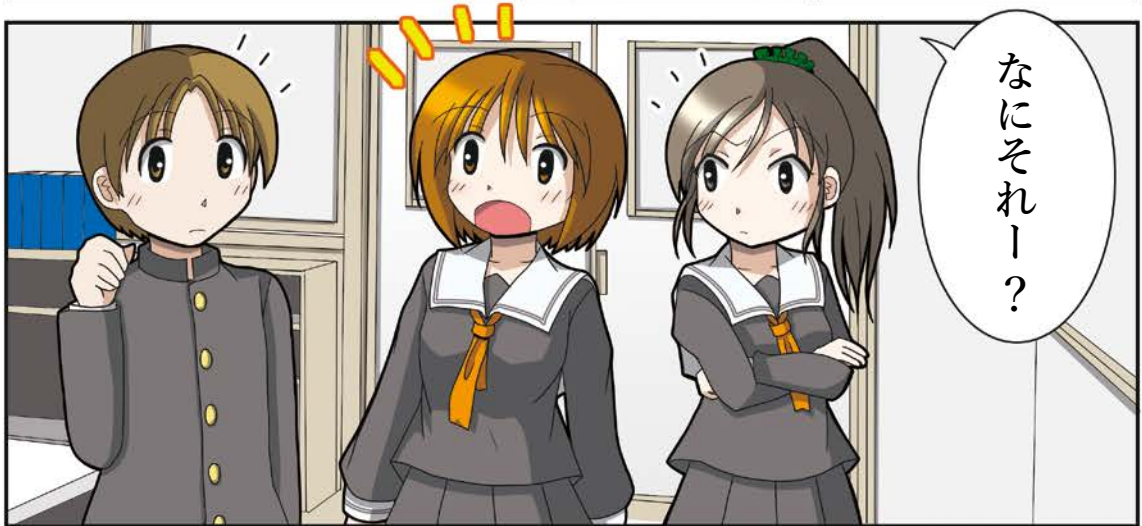
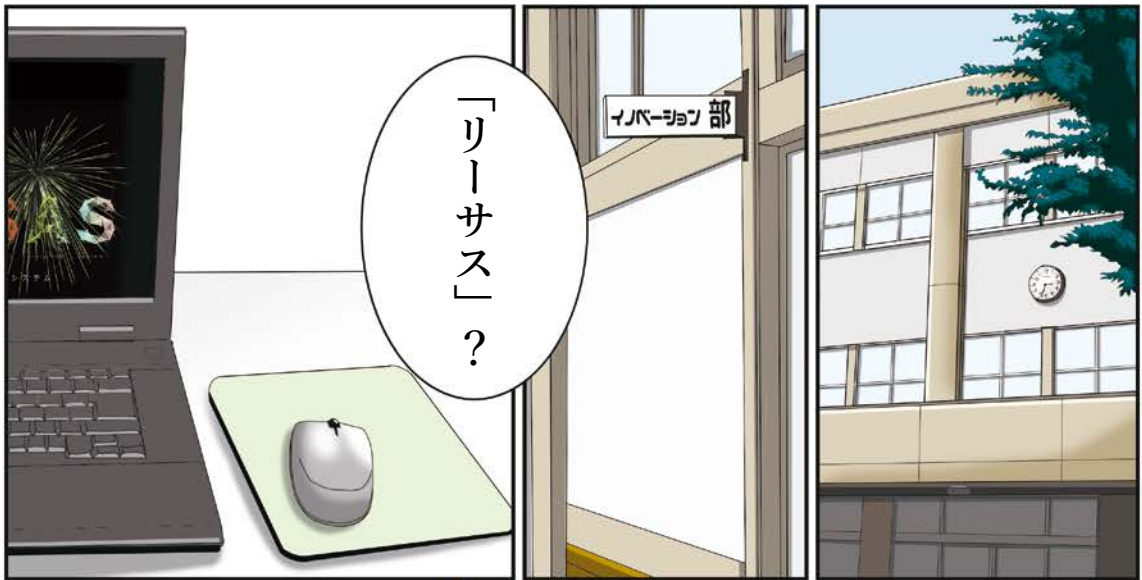
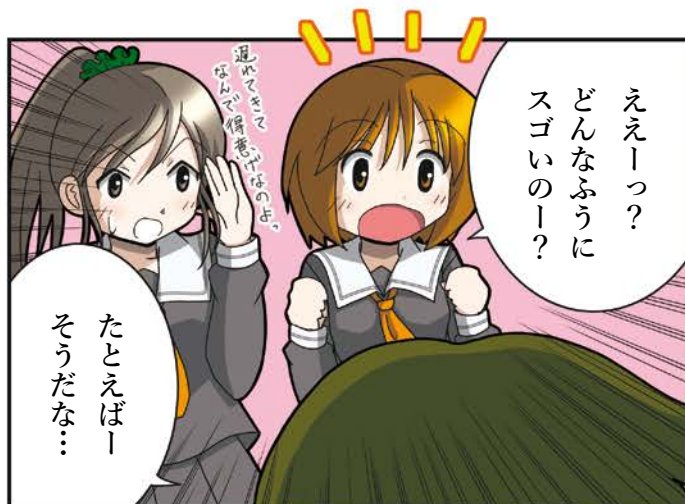










リーサスとは何か

皆さんの住んでいるまちをもっと元気に！

最強ツール『リーサス』を手に、 地方創生に挑戦しよう

**日本の課題、
地方創生に皆さんの力を**

地方創生。それは、いま、全国の地方公共団体が向き合っている課題です。

20世紀の終わり頃から急速に進行してきた少子高齢化のために、日本の人口は2008年をピークとして減少に転じました。年齢別の構成を見ると、働く人の大多数を占める生産年齢人口（15歳～64歳）の割合が、1995年の約70%から2015年には約60%となり、このままのペースが続けば2050年には、50%近くにまで下がる予想されています。人口減少の影響を真っ先に受けるのは誰でしょうか。

それは地方です。人が増えていく世の中に合わせて作られてきたまちから人影が減り、働き手の不足でまちを支えてきた産業が衰退し、物を買う人が少なくなるために店をやっていることが難しくなつて、まちはさびれてしまいます。中高生の皆さんが社会の中心的存在となる20年後には、存続の危機を迎えているかもしれないまちがたくさんあります。

これを放っておくわけにはいきません。

だからいま、地方創生なのです。国と地方がそれぞれの力を発揮して、日本の未来の予想図を明るくものに書き換えようとしているのです。10代の皆さんも、ぜひ、この挑戦に加わってください。

**地方創生のために作られた
最強ツール、リーサス**

リーサス（RESAS）は、地方創生にチャレンジする人々のために作られた最強のツールです。

リーサスを使えば、自分が住んでいるまちのことを、高い空から見下ろすように一瞬で把握することができます。

赤外線を照射したかのように、本来肉眼ではとらえることのできない「動き」や「関係」を「見える化」することが出来ます。

まちとまちとの生き物のようにつながりも鮮明に浮き上がらせることが出来ます。

つまり、このツールがあれば、まちを元気にするためのポイントを、すばやく直観的に知ることができるのです。そしてこんな役に

立つツールを、パソコンがあれば、誰でも簡単に使いこなせます。

リーサスに興味を持ってもらえたでしょうか。それでは、リーサスの正体をもっと詳しく説明しましょう。

**必要なデータは
リーサスに揃っている。
そこがスタートライン**

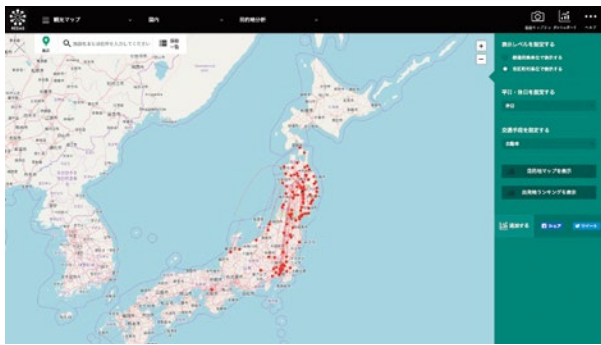
リーサスは地方創生に必要な多種多様な膨大な情報を網羅したビッグデータです。

そこには人口・産業・観光に関する信頼性の高い統計資料が揃っているだけでなく、個人が持ち歩くスマートフォンGPS機能のベースとする、普通では得られない集積データなども見ることが出来ます。

皆さんは学校で取り組んだ探究活動や調べ



マホ



皆さんのまちを訪れている人々がどのまちから来ているかを把握できます（観光マップ）

学習で、資料探しの苦労を経験したことがあると思います。知りたいことがどこにあるか探すのが大変。しかもびつたりデータのがないことも……。たとえ見つかったも、データの形式はさまざまで理解するのが大変。自分の目的に合わせて加工するのも大変。

そのすべての作業が完璧に終わった状態で使えるのがリリースです。

皆さんのまちを知るために必要なデータを、簡単な操作であつという間に画面に呼び出すことができます。いわば、地方創生専門のランブの魔人のようなものです。

リリースに命じて、まず、まちの現状をしっかりと把握してください。そこからすぐに分析やアイデア探しにとりかかることができま

すべてを「見える化」。
直観的にわかるから
アイデアが湧く

リリースはすべてのデータを、わかりやすく「見える化」したグラフやモデル図で画面に展開します。これなら単なる数字の並んだ表とちがつて、まちのさまざまな顔、強いところと弱いところ、まちを元気にするポイントは何かを、瞬時に、直観的に把握することができます。

だから、「ここはどうなっているんだろう」と次につながる疑問が浮かんだり、以前に見た何かと似ているという連想が働いたりということが起きます。これがリリースの最大の強みです。

知りたいことがすぐ見える。
簡単操作で思考が加速

リリースの操作はとても簡単です。慣れるのにも時間はかかりません。パソコンがそんなに得意でなくても、30分もあればかなり自由に動かせるようになるでしょう。困ったときのために、とてもわかりやすい動画での使い方説明も見られるようになっています。

実際に触ってみるとわかりますが、画面を見ながら少ない操作で気持ちよく展開させていくことができます。思考のスピードにびつたりついてきてくれるから、アイデアが浮かんでくるし、それを育てやすいのがリリースの特徴です。

まちとまちのつながり、
他のまちのことも
はつきり見える

リリースには日本全国の市区町村のデータが集積されています。それを使ってまちとまちのつながり方を「見える化」することができます。

人はこのまちにどこから来てどこへ行くのか。

このまちで作られたものはどこで売られているのか。

そのような本来目に見えないものをリリースで目の当たりにしてください。

また、このまちと似た他のまちの事例やアイデアを参考にすることもできます。

鳥の目から虫の目へ。
基礎データで思いつきを
検証し具体化する

直観で何かを見つけたとき、あるいはグラフを見て何かを思いついたとき、次に必要なのはディテール（詳細）の情報です。リリースでは鳥の目から虫の目に降りていくように、より具体的に詳細な情報を取得することができます。現実の入り口まで降りていくことができるのです。

ここから先は、リリースを離れて、もっと細かいレベルでまちのことを調べたり、いろいろな人に会って現場の話を聞き取ったりする段階に入っていきます。リリースで得た一片のアイデアを、効果的な政策提言にしっかりと育てていきましょう。

リリースはまちづくりのゲームに似ているかもしれません。

しかし、画面に出てくるのはすべて現実の数字です。

皆さんの地方創生のチャレンジの対象は、今皆さんが住んでいるリアルなまちなのです。